

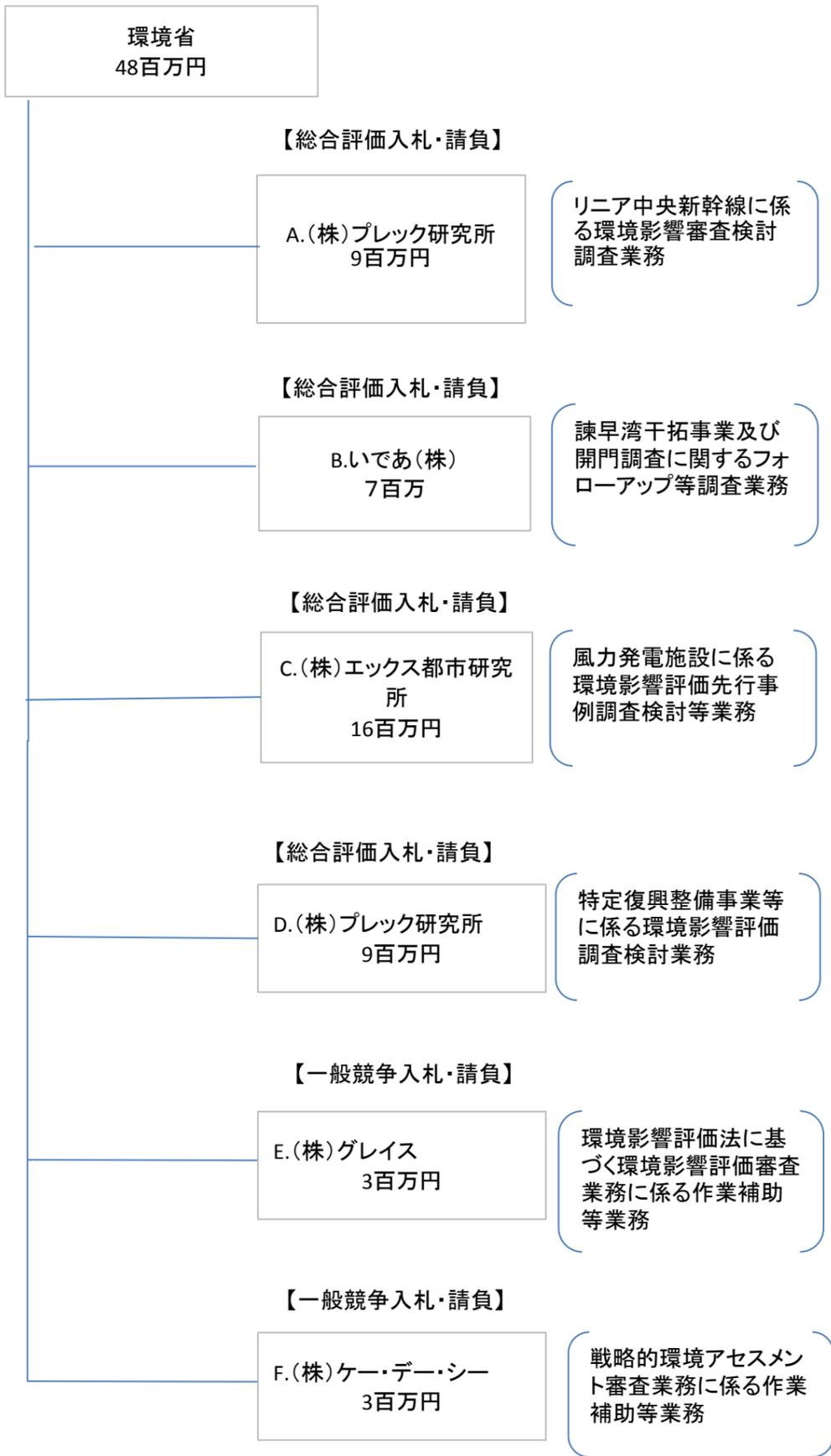
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	環境影響評価審査体制強化費		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	環境影響審査室		室長 田中 紀彦	
会計区分	一般会計		施策名	9-2 環境アセスメント制度の適切な運用と改善			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境影響評価法 第23条		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境影響評価法の改正により、計画段階配慮書手続及び事後調査結果の報告・公表義務づけ等が盛り込まれ、また、風力発電施設が対象となるため、審査業務等が大幅に増加する。環境省として改正法の施行及び円滑な審査を行うために、審査体制の強化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>配慮書段階、事後調査の報告段階それぞれについて、事業種ごとに、環境大臣意見を述べる際に必要な全国的あるいは諸外国の知見(これまでに提出されたアセス図書情報の整理、全国的見地からの希少生物の生息情報、施工・維持管理の技術的情報、環境保全措置に係る情報、諸外国の先進的知見等)を収集、整理し、改正法に対応した審査の円滑化に資する。</p> <p>また、個別審査案件についても、特に重要なものについては、環境省において全国的見地から審査を行うための調査検討を行う。専門家による委員会を年に1回程度開催し、審査案件ごとの進捗情報の共有や、過去の大蔵意見内容のレビュー、次年度に意見聴取を行うべき個別事業および専門家の選定を行うとともに、選定された個別事業について、適宜専門家の意見を聴取する。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	54	41	35
		繰越し等	-	-	0	0	-
		計	-	-	54	41	35
	執行額	-	-	48	-	-	
	執行率(%)	-	-	89%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は、改正法に基づく環境影響審査を円滑に実施するための調査検討等を行うものであるため、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	環境影響評価法に基づく環境影響評価手続の実施件数 (見込み案件数は予測不可能なため記載しない)		活動実績	-	-	5	-
			(当初見込み)	-	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	9.6百万(円/件)		算出根拠	執行額/環境大臣意見の件数 =48,000,000円/5件			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	37	32	要求内容を精査し、効率化を図ったため。			
	職員旅費	1	1				
	諸謝金	2	1				
	委員等旅費	1	1				
計	41	35					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	環境影響評価の際に提出する環境大臣意見は、環境影響評価法を所管している国(環境省)が行う事業であるため、当該意見形成のための調査業務は、地方自治体等に委ねる事業ではない。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定は、一般競争入札(総合評価落札方式)で行っており、競争性は確保されている。また、事業の目的に応じて業務内容を絞り込んだ仕様書に基づき業務を行っており、コストの削減にも努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	法改正に伴う新規事項及び新規性の高い個別案件の調査検討業務は、環境影響審査を円滑に実施するために必要であり、その成果は十分に活用されるものと考えられる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果		法改正に伴う新規事項及び新規性の高い個別案件の調査検討業務は、環境影響審査を円滑に実施するために必要なものとなっているため、今後とも引き続き効率的な事業の実施に努める。	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		時節に応じて事業内容を重点化すること等により、概算要求額の縮減と効率的な事業実施に努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		要求内容を精査することにより、予算要求額を縮減した。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-014

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(株)プレック研究所			E.(株)グレイス			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	9	賃金	環境影響評価法に基づく環境影響評価審査業務に係る作業補助等業務	3	
計			9	計		3
B.いであ(株)			F.(株)ケー・デー・シー			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	諫早湾干拓事業及び開門調査に関するフォローアップ等調査業務	5	賃金	戦略的環境アセスメント審査業務に係る作業補助等業務	3	
旅費	検討会、ヒアリング旅費	0.4				
借料及び損料	検討会会場費	0.1				
諸謝金	検討会委員、ヒアリング謝金	0.3				
印刷製本費	報告書	0.1				
一般管理費		1				
消費税		0.4				
計		7	計		3	
C.(株)エックス都市研究所			G.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	風力発電施設に係る環境影響評価先行事例調査検討業務	12				
諸謝金	検討会謝金	1				
旅費	検討会、ヒアリング、現地調査	2				
借料及び損料	ヒアリング会場借上料	0.01				
会議費	検討会会議費	0.3				
印刷製本費	報告書	0.1				
賃金	作業員	0.4				
一般管理費		0.1				
消費税		1				
計		16	計			
D.(株)プレック研究所			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	特定復興整備事業等に係る環境影響評価調査検討業務	7				
諸謝金	有識者謝金	0.1				
旅費	委員旅費、現地調査旅費	0.2				
借料及び損料	委員会会場借上、現地調査レンタカー	0.02				
会議費	委員会会議費	0.01				
印刷製本費	報告書	0.02				
その他		2				
計		9	計			

費目・用途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プレック研究所	リニア中央新幹線に係る環境影響審査検討会	9	2	

B.

1	いであ(株)	諫早湾干拓事業及び開門調査に関するフォローアップ等調査業務	7	1	
---	--------	-------------------------------	---	---	--

C.

1	(株)エックス都市研究所	風力発電施設に係る環境影響評価先行事例調査検討業務	16	3	
---	--------------	---------------------------	----	---	--

D.

1	(株)プレック研究所	特定復興整備事業等に係る環境影響評価調査検討業務	9	3	
---	------------	--------------------------	---	---	--

E.

1	(株)グレイス	環境影響評価法に基づく環境影響評価審査業務に係る作業補助等業務	3	1	
---	---------	---------------------------------	---	---	--

F.

1	(株)ケー・デー・シー	戦略的環境アセスメント審査業務に係る作業補助等業務	3	1	
---	-------------	---------------------------	---	---	--